

学期	月	時数	単元	内容のまとめ	学習内容	評価の観点			評価規準(B)	評価方法	
					授業	知 技	思 判	態 度		授業	各種テスト 及びその他
1	4	7	デザイン	絵文字のデザイン	絵を加えることでより意味が伝わるような文字を選ぼう			○	表現の意図を伝えるための簡略化・省略化・協調などを意識している。	プリント	作品 ワークシート デザイン用紙 (コンセプト文)
				アイデア出し・エスキース	漢字とイラストから発想しよう		○	○	文字の意味がより伝わるようなイラストを組み合わせ、表現している。	ワークシート	
				デザイン形成・決定	美しい形にこだわり、意味が伝わるかを考えよう		○	○	形の美しさにこだわり、意味が伝わるデザイン表現を工夫している。	ワークシート	
				下書き	着色しやすいように、薄く丁寧に下書きしよう	○	○	○	作品の意図を第三者に伝えるための構成を効果的に表現している。	イラストボード	
				着色	道具を用いて、美しく着色しよう はみ出した部分は背景色で修正しよう	○	○	○	材料の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、見通しを持って計画的に制作している。	イラストボードにアクリル絵具で着色	
	6	3	鑑賞	ルネサンスを学ぶ	ルネサンス期に活躍した画家から表現方法を学ぼう		○	○	イタリアルネサンス期を学ぶことで、国や地域、民族によって表現方法や造形感覚に相違があることを理解している。 美にあこがれる人間の普遍的な心情などに目を向け、それぞれの美術や文化の良さなどを味わおうとしている。	プリント	テスト
				ボッティチェリ・ラファエロ			○	○		プリント	
				ダヴィンチ・ミケランジェロ			○	○		プリント	
	7	2	技法	透視図法①	一点透視、二点透視、三点透視を学ぼう	○	○	○	透視図法を理解し、簡単な形を描くことができる。	ワークシート	テスト
				透視図法②	二点透視で室内が描けるようになろう	○	○	○	二点透視を理解し、室内を描くことができる。	ワークシート	
2	9	16	篆刻	篆刻とは(導入)	篆刻の歴史・種類・制作手順などを学ぼう			○	篆刻について理解を深めようとしている。	プリント	テスト 作品
				印面の制作	印面のデザインを決定し、下書きをしよう		○	○	基本的には篆書体を用いて、陽刻または陰刻にふさわしいデザインを考えている。	ワークシート 遼凍石	
					彫り方の手順を理解しよう	○	○	○	彫り方を理解し、丁寧に印面を彫り、押印することができる。	石・篆刻刀 石・篆刻刀	
					持ち手のデザイン	石の特性を理解し、デザインを考えよう		○	○	石の硬さ、質感、色みなどを考慮し、美しい立体を考えている。 頭の中で三面図を思い浮かべながら下書きをすることができる。	
				荒彫りをしよう		○	○	彫造の方法を理解し、不要な部分を削ることができる。 細部に目を向けることなく、大まかな形を作ることができる。	石・篆刻刀		
	細部の彫り方を理解し、理想の形に近づけることができる。 丁寧に作業することができる。										
	細部を彫りすめよう	○	○					自分の作品に愛着を持ち、光沢が出るまで磨くことができる。 形の美しさと光沢に満足し、達成感を得ることができる。		石・耐水ペーパー	
	12			やすりで磨こう			○	道具の名称と彫りの名称に興味を持って学ぼうとしている。 調和のとれた洗練された美しさなどを考え、表現の構想を練っている。	プリント 白木の手鏡		
	3	1	7	木彫	木彫の導入	様々な彫の種類を学ぼう	○	○	○	材料の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、見通しを持って創造的に制作している。 効果的な着色方法を考え、用いる場面を意識した装飾を考えている。 材料や道具の特性などから、制作の順序などを考えながら、見通しを持って制作している。	
デザインの検討		「浮き彫り」にふさわしいデザインを考えよう									
デザインを写す		装飾の目的や条件など理解し、丁寧にデザインを写そう									
	2		彫刻作業	彫刻刀を使い分け、浮彫をしよう							
	3										